

# みなみいせ 2008



## 議会だより第7号

(平成20年3月1日発行)

### 平成19年12月定例会

#### 主 な 内 容

定例会質議……………	2 ～ 5
一般質問……………	6 ～13
追 跡……………	14



冬の風物詩（五ヶ所湾）

# 平成19年 第4回 定例会

12月議会は、12月11日から17日までの7日間の会期で開かれました。  
この議会での主な議案は、  
(1)「平成18年度各会計決算認定について」の決算特別委員会の報告と採決。  
(2) 請願と意見書の提出。  
(3) 町営住宅管理条例など5条例の一部改正。  
(4) 人権擁護委員推薦への意見について。  
(5) 平成19年度一般会計ほか7会計の補正予算。  
(6) 一般質問、14人。

## 暮らしに直結した請願と意見書

今議会には、住民の暮らしに直結する請願2件と議員有志が提案する意見書の提出1件が提出されました。

- 1、「後期高齢者医療制度の抜本的見直しを求める請願」  
提出者 三重県年金者組合伊勢支部 佐々 章  
紹介議員 手塚征男  
4月1日から始まる後期高齢者医療制度に対して、問題点が多く抜本的見直しを求めるという趣旨に賛同し、全員賛成で請願を採択。請願の趣旨に基づき、政府に対して意見書を送付することを決定。
- 2、「最低保障年金制度の実現を求める請願」  
提出者 三重県年金者組合伊勢支部 佐々 章  
紹介議員 岡田和夫  
支給額が低すぎる年金制度を改めるよう政府に意見書を上げることを求める請願に賛同して、賛成多数で採択。政府に対して意見書を提出することを決定。



- 3、「三重県の『福祉医療費助成制度』見直しに関する意見書」  
提出者 岡田和夫議員  
賛成者 太田久幸議員  
同 西 則孝議員  
同 沢村圭也議員  
「乳幼児」「障がい者」「ひとり親」の医療費助成制度に、本人2割負担を導入しないことを三重県知事に求める意見書。全員賛成で、野呂昭彦県知事に意見書を提出することを決定。

## 全会計の認定を承認

太田久幸決算特別委員会委員長が、11月8日から15日まで開かれた決算特別委員会の審査結果を報告しました。

その後、各会計ごとに採決を行い、全ての会計の決算を認定することを全員賛成または賛成多数で承認しました。  
決算認定の表決の結果は次のとおりです。

- 1、一般会計 多数
- 2、住宅資金会計 全員
- 3、福祉資金会計 全員
- 4、国保会計 全員
- 5、老人保健会計 全員
- 6、介護保険会計 全員
- 7、簡易水道会計 多数
- 8、下水道会計 多数
- 9、浄化槽会計 多数
- 10、病院会計 多数
- 11、上水道会計 多数

## 委員長報告の要旨

今回の決算は、南勢町と南島町が合併して初めての通年決算です。この決算を基にして、本当の意味での南伊勢町がスタートすると言っても過言ではありません。

18年度に、議会は行財政改革特別委員会を設置して、様々な提言を行ってきました。提言により改善の兆しが見られるものの、まだまだ甘く、早急に解決すべき問題が山積しています。

行財政改革委員会の提言の中から、何件か採用されたことを評価する討論がありました。また、真に1つの町になるためには、公共料金の統一への具体的な計画を示し、差異を早く解消することこそ必要であるとの討論もありました。

19年度に大きな見直しを計画し、改善しつつある南伊勢町立病院ですが、

18年度の経営においては1億9,496万9,606円という、過去に無い多額の赤字を計上したことに厳しい指摘がありました。

現在、南伊勢町は地方交付税や町税が減少し続け、債務（借金）が増え続けています。構造的に赤字体質であり、今後、より厳しくなる財政状況であります。

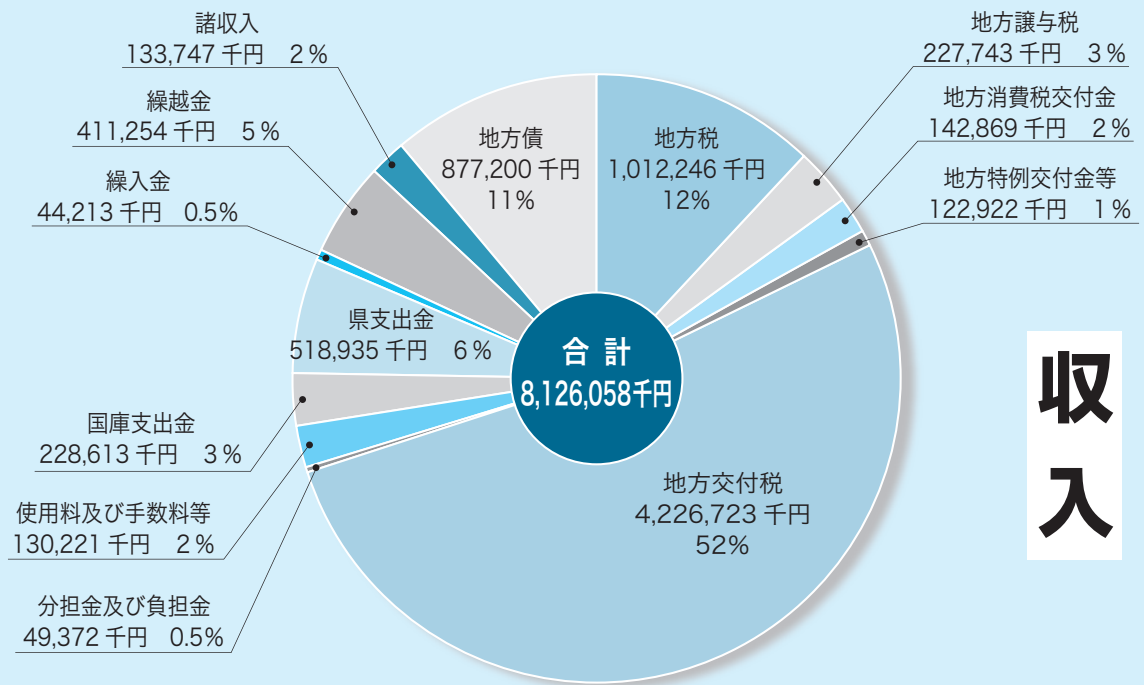
決算特別委員会の中で、委員の指摘を十二分に考慮され、20年度の予算編成に反映されるよう切望すると言った意見もありました。

委員の方々には、決算の重要性を認識して熱心に慎重審議を行っていただきまして。以上、報告いたします。

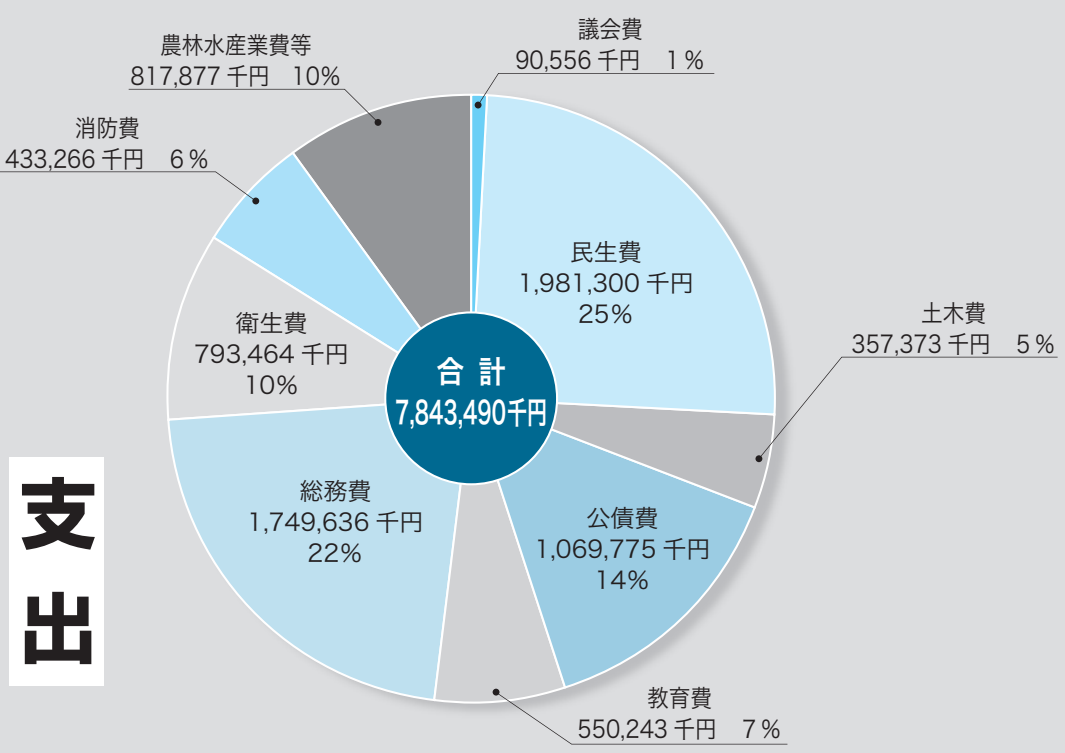
# 一般会計決算

平成18年度

## 収入



## 支出





## 遅れていた夜勤手当を改正

### 12月議会の主な 条例改正

- 1、法律改正に伴い、育児休業をした職員の職務復帰後の号級の調整を行うための条例改正。
- 2、人事院勧告に基づいて、若年層の職員の給料と、職員の扶養手当を改正するための条例改正。
- 3、町営住宅から暴力団員の排除を行うための条例改正。
- 4、看護師、介護士の夜間勤務手当てを、近隣市町並みに増額する条例改正。

**人権擁護委員に推薦**  
相賀浦の河口 敬氏を人権擁護委員に推薦することを、全員賛成で同意しました。

### 緊急地震速報

**問** 緊急地震速報通信料の費用2万円だが、この情報が入ったときに、防災行政無線でどのような使い方をするのか。  
**答** これは役場が地震の情報を得るために使うシステム利用料です。質問の消防庁から地震の速報が入ってきた場合については、防災行政無線を自動的に立ち上げて、チャイムを鳴らした後、「地震が来ます」というような放送を流します。20年度の秋頃に配備する予定の戸別受信機からも流れるようになります。

### 阿曾浦の測量調査

**問** 阿曾浦の漁村再生交付金事業での測量調査について説明願いたい。  
測量調査をやり直すことで、完成までの計画はどれくらい遅れるのか。また、阿曾浦から大方竈へ行く道の古い堤防はこの工事の過程の中で一日も早く破って、車が通れるようにしてもらいたい。



早期解決を



旧島津小学校



旧東小学校

### 学校管理

**答** 当初、県の海岸整備事業でやったボーリングの結果を参考にしていたところ、深いところに一ヶ所、シルト層という粘土層があることが分かりました。そのために重いものを乗せると周囲に影響が出るため、工法上で慎重な対応をしていきたい。事業計画としては、5年間の事業で計画しておりますが、5年間という期間には影響は出ないのではないかと考えています。古い堤防については同感であります。一日も早く通れるよう頑張っております。

### 主な支出は

- ①テレビ会議システム導入業務委託料 412万3千円
  - ②国民健康保険特別会計への繰り出し金 4,360万4千円
  - ③宿田曾統合保育所建設外部分の工事費 713万7千円
  - ④後期高齢者医療保険の三重広域連合への負担金 332万円
  - ⑤福祉医療費扶助費 418万5千円
  - ⑥保健活動備品購入費（古和浦診療所） 258万円
  - ⑦クリーンセンター塵芥処理費（燃料、光熱費、修繕料） 860万円
  - ⑧ふるさと農道県工事負担金 1,562万円
  - ⑨森林除伐。下刈委託料 671万円
  - ⑩19年農用施設災害復旧費 523万9千円
- ① 地方交付税3、221万6千円増で、計41億2、056万3千円。  
② 県支出金1、136万4千円増で、計4億9、270万2千円。  
③ 繰越金1、632万9千円増で、計6、632万9千円。  
④ 町債1、570万円増で、計9億8、570万円。

### 一般会計

12月議会では、8会計の補正予算が議案として提出されました。その中で一般会計の主な内容と質疑についてお知らせします。

### 19年度補正予算

## 補正予算の主な質疑

### スポーツ振興

**問** スポーツ振興費の86万円の使途は何か。  
**答** 3月16日に、第一回「美まし国三重市町対抗記念駅伝大会」があり、選手、監督のユニフォーム22名分です。

### 種苗センター

**問** 種苗センターの修繕費57万9千円は、南勢種苗センターの雨漏りしている屋根の修繕か。  
**答** 南勢の屋根の修繕は来年度予算で計画しており、これは南島種苗センターの棧橋、イカリ上げ機械の修理と、南勢の海水ポンプ修理費です。

### テレビ会議

**問** テレビ会議システムの具体的な運用方法はどのようなものか。  
**答** 全部で27台のパソコンとカメラを設置して、



4ヶ所の支所と南勢・南島の庁舎とを結び、お客さんに役場の担当者が図面などを見ながら説明できるようなシステムです。

### 古和浦診療所

**問** 古和浦診療所への備品購入の内容と、今後の予定は同じなのか。  
**答** 診療所備品と、コンピュータシステムを導入します。現在休診中の診療所ですが、1月半ばから町立病院の阿曾浦診療所から3月末までは週1回来ていたとき、来年度については回数を増やしていきたいよう病院と検討しているところです。

### ふるさと農道

**問** ふるさと農道の建設費は17億円から19億円かかると言われるが、南勢地区で2ヶ所のふるさと農道が途中で中止になったことと比べて、大方竈地区の場合は費用対効果の面はどうか。  
**答** 災害が起こったときにスーパ―堤防が壊れたら阿曾浦の里も孤立化することになる。その意味でもこの道路は必要だと思います。

### 森林開発

**問** 森林開発造成費の671万円の使途はこの地区か。  
**答** 緑資源公団と契約している村山地内の2ヶ所の除伐と、歩道新設分の委託料です。

### 道路占有料

**問** 収入で、道路占有料というのは、NTT、中電、国見山、ケーブルテレビの占有料ということだが、その電柱一本の料金というのは三重県下どこも同一料金なのか。よその町が高く取っているなら、うちの町も占有料を上げてくれるよう主張してはどうか。  
**答** 電柱一本の単価の見直しは3年とか5年の周期でやっていると思います。合併後は見直しをしていますが。他市町との比較をしまして、もしうちのほうが安いということになれば、交渉はやってみたいと思います。

### 農用施設 災害復旧

**問** 農用施設災害復旧費の出身について説明を。  
**答** 本年度7月の台風による災害で、被災場所は内瀬地区の排水路、水路2ヶ所です。災害査定で認められた部分は、排水路67m、用水路8mです。

### 集会所、公民館 の修繕

**問** 村山と大方竈の集会所、そして五ヶ所浦の公民館の修繕費が上がっているが、費用の30万円までは地元と2分の1ずつを、それを超えた場合は4分の3を町が負担するということになっている。それでは、人口が千人の地区と200人の地区とでも同じ負担が必要なのか。  
**答** 総務課とはまだ話はないが、人口の割合には関係しないと理解しています。





# 14人が 町政を問う

## 一般質問

### 山本善昭 議員



#### 合併大事業の 反省と今後の 町づくり

**問** 町合併という大事業を通して反省をえ、今後の町づくりの考えかたについて。

**答** 町長 職員により合併後に主たる事務事業について評価シートを作成し、目標値に対する達成度や費用対効果についての見直しを毎年行っている。

町づくりにはアンケートなどによる住民の声も把握していかねければならない。行政サービスを

提供する側の責務とあわせて、納税者でありサービスの受け手でもある住民の立場に立って、見直しと改善を図っていく必要があると考えている。

#### 町長と議決権を持つ 議会とのチェック アンドバランスの 観点から

**問** 町長には執行権を、議会には議決権を与え、相互がその権限の均衡、バランスをとり、それぞれの独断専行を抑制して、適切で効率的な行政の運営の確保を目指すべきでは。

**答** 町長 両者とも立場は違うが、住民全体に対して責任を直接負うという立場である。代表機能を持つことを認識しつつ、町を運営していく、いわば車の両輪でありたいと思っている。

**問** 経済振興策と町の活性化について伺いたい。

**答** 町長 生産経済の向上及び所得を高める事により町の活性化を図り、財政健全化を促す福徳基金も有りますが検討課題としたい。



### 手塚征男 議員



#### 今後の南島病院 について

**問** 町として南島病院問題をどのような位置づけをしながら、支援を強めていくのか。

**答** 町長 地元では地域医療の拠点として欠かせない病院であり、今後も支援していく。

**問** 現在の病院の規模を守るのか。

**答** 健康福祉課長 9床の有床診療所に変わっていく。医療型機能を有した老健施設に転換をしていく。



魅力あふれる水産業

**問** 南島病院は病院としてはもう守れないということか。

**答** 健康福祉課長 病院の機能は持っているが、名前としては有床診療所になるということである。

#### 若者が定住 できる 町づくり

**問** 昨年、農業と林業を守りながら若い人を増やしていくと提案したが、町はどのように検討されたのか。

**答** 町長 田んぼの部隊、山の部隊を全国から公募して、若者の定住を図る提案については、非常に難しい問題であり、模索をしている段階である。

**問** 農林水産、本当に頑張っている人が生きていく道もまた生まれてくると思うがどうか。

**答** 水産海洋農林課長 自然をいかした観光とか、磯体験をすれば就業の機会も増えると思う。

### 西 則孝 議員



#### 新しい組織とは

**問** 副町長の選任の考えを伺う。

**答** 町長 20年4月より新組織に合せて1名の指名を前向きに検討している。

**問** 課の数が23課から13課へと10課減ることになるが、これによる住民サービスの影響について伺う。

**答** 町長 管理職を含め窓口のサービスを向上のための会議を毎月持ち努力していきたい。

**問** 職員の働きやすさについて伺う。

**答** 町長 職員の能力が充分発揮できる職場環境をつくるため、4月からはグループ制によりチームを作る。又、テレビ電話システムの導入を図り対処していきたいと考えている。



#### 大地震と津波 の防災対策

**問** 想定される大地震と津波があった場合、本町の道路状況はどうなるかと予測するのか。

**答** 町長 本町の道路については、各地区で土砂くずれ等が発生し各集落が孤立すると予測している。

**問** 地震発生から3日間の混乱期に対し、行政のできる事をどのように把握しているのか。

**答** 防災安全課長 発生直後、職員は両庁舎へ集合し、被害等の情報の収集を行うことになっているが、直接的な救出、救護体制はすぐに取れないと思う。

**問** 混乱期の3日間道路など利用できなくなり、各地区の役割が非常に大事では。

**答** 町長 区単位での活動と自主防災組織の活動をしっかり支援をしていきたいと思っている。

#### 種苗センター の今後は

**問** 本町の漁業に役立っている種苗センターを今後どのように運営していくのか。

**答** 町長 漁業者のニーズに合わせて安定供給できるよう、努力をしていきたい。



## 上村久仁 議員



### 格差問題と 地域活性化

**問** 新聞記事によると、東海4県、176市町村の経済力を数値化したところ、下から4番目となった。厳しいランク付けの現実と今後の展望を伺いたい。

**答** **町長** 第一次産業は北勢、中勢地域と大差はないが、二次産業、三次産業では差がある。又財政力指数、就業率でも17年度対比29市町村中28番目という低い水準である。横断的な活用を図って、地域活性化の推進を図る必要がある。



**問** 19年度から取り組んでいる、頑張る地方応援プログラムの現状は。

**答** **企画商工観光課長** 頑張る地方応援プログラムと大学連携の地域づくり事業の二つを地域活性化として取り組んでいる。

**問** 施設に対しての活用方法をどんな形で町民に知らせるのか。

**答** **生涯学習課長** 施設の利用については、広報誌等を通じて住民に知らせている。

**問** 関連施設は貴重な財産でもある。有効活用のため、どのような取り組みをしてきたのか。

**答** **生涯学習課長** 町内には総合グラウンド5ヶ所、屋内体育施設17ヶ所、文化施設4ヶ所がある。町民にはゲートボール、グラウンドゴルフ大会等有効活用してもらっている。

### 体育施設、 生涯学習施設 の利用状況

## 太田久幸 議員



### ふるさと農道 整備事業の今後

**問** 大方から道行までのふるさと農道全体の事業費が17億円から19億円に変わった理由と、今後の事業計画、財政計画について伺いたい。

**答** **町長** 19年度において県道阿曾浦港線からトンネルの坑口まで308mの農道整備を行い、20年度からトンネル工事に着工、22年度に完成、その後、阿曾浦地区の町道への取り付けを行い、平成24年度にすべ

**問** 切原地区、内瀬地区のふるさと農道が工事半ばにして計画が中止となった理由を教えてください。

**答** **町長** 県において平成10年に導入された公共事業再評価システムのことで、平成15年度に事業が再評価の対象となり、費用対効果を評価した結果、事業実施は困難であるとの判断により、事業規模を縮小し計画変更となった。再評価委員会において、現在の完成部分までの計画の承認をいただく。



実施計画の説明を待つ

莫大な費用を使ってつくるふるさと農道は、もっと地域住民の方々に説明する場を持つて理解してもらう事が大切であると考えている。

## 上村康廣 議員



### 通学バスの今後は

**問** 松阪方面の高校に就学している生徒の人数と、そのうち通学している方、下宿、寄宿をしている人数の把握をしているか。

**答** **教育長** 就学している人は41名で、通学している生徒は4人、下宿している生徒は37人いる。



柏崎までバス運行を

**問** 柏崎まで通学バスが開設されたら、松阪、紀州も含めた、国鉄を利用した通学も可能になるのではないかと思うが、その対象は。

**答** **教育長** 柏崎までの通学バス運行は、残念ながら教育委員会は何も考えていない。

**問** 何人ぐらい通学希望者が出たら、その事が可能だと思うか、町長の意見を伺いたい。

**答** **町長** 何人なら通わすという話は現時点では持っていない。

### 水道問題は

**問** 簡易水道について、町長は全廃していく方針ではないのか、そして課長は補助金を受けるため上水道へ移行すると説明をされたが。

**答** **町長** しっかりと調査して、そのうえで報告をさせていたきたい。

**問** 町民への説明会はどうするのか。

**答** **町長** 10年後の上水道との統合等について、早い機会に説明したいと考えている。

**問** 9年先に上水道へ移行した場合は、40年先に替えるときに交付税バックがなく、全部住民負担になるわけだが、そういう可能性は。

**答** **水道課長** 中島簡水が8億7千万円の事業費はすべて起債という形の中で簡水債半分、過疎債半分とした補助制度がある。

## 東伊久雄 議員



### 地域の活性化は

**問** 活性化グループを中心とした人的資源を生かした町づくりについて聞きたい。

**答** **町長** 活性化グループの情報交換等の場を設けたり、色々な力を持った人に会う機会を持ち、町づくりを模索していく。



活気あふれる南伊勢町

**問** スポーツ、祭り、イベントによる交流で両町の融和を兼ねた地域の活性化について町長の考えを聞きたい。

**答** **町長** 地域間交流を積極的に進め、住民が主役の町づくりをしていきたい。

**問** 行政として、両町の融和を計るため町民体育祭、南勢どんどんみたいなイベントをする計画が有るか。

**答** **生涯学習課長** 会場や人員輸送の面で大きな検討課題が残っているが、平成20年には考えていく方向でいる。

### 今後の農業政策

**問** 米、ミカンなど、農産物価格の下落、鳥獣害の増大、高齢化、後継者不足など、厳しい農業政策の今後の見通しを聞きたい。

**答** **町長** 中山間地域において、状況を打破する方策はなかなか見出せない。生産基盤の整備により作業の効率化、労働環境の改善を図り、農地の保全と担い手を守る政策を検討していく。

**問** 5年、10年後のわが町の農業の姿をどの様にとらえているか。

**答** **水産海洋農林課長** 高齢化の中で山間地を中心に農地の荒廃、放棄地が増える懸念がある。

集落の周辺の農地については、集落内で守っていく集落営農組織がある。



# 松葉和久

## 議員



### 地域エネルギーへの取り組みは

**問** 現代は石油社会であるが、約70年後には石油がなくなると言われ、それに変わるものとして自然天然エネルギーがある。

●太陽光発電を南島庁舎で実施しているが、将来増設できる施設か。

●町は森林資源バイオマスエネルギーを重視しているが、木材の搬出コストが高く実用不能と思うが行政の考えは。

●以前から風強調査をしている風力発電の調査結果と、風力発電建設の実現性について。

●自然天然エネルギーの中で当町に適したエネルギーはあるのか  
以上の点について伺う。

**答** 企画商工観光課長 太陽光発電平成11年に国の補助を受け非常用電源の確保、環境の保全を目的として防災対応型太陽光発電システムを設置した。耐用年数は17年で、庁舎の年間使用電力量の約1%である。施設に応じた金額、事業費も大きく増設は考えていない。

●森林資源バイオエネルギーについては、町として森林面積も広くエネルギーとして期待のできる結果も出ており、バイオマスの熱を利用した公共施設またハウス栽培の熱源に活用できると考えている。

●風力発電については、現在2ヶ所ですべて実施しており、結果は良いがいろいろな課題もあり企業も慎重な進め方をしている。

●当町に適した新エネルギーについては、17年に策定した地域新エネルギービジョンの導入プロジェクトの中での推進事業であり、今後もそれに沿って進めていく。



太陽光発電（南島庁舎）

# 中山盛

## 議員



### 20年度予算は

**問** 自治体財政健全化法が成立し19年度決算より実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率を算出し公表が義務づけられた。

20年度決算からは定められた数値基準を一つでも超えた場合、早期健全化団体に移行、さらに悪化して基準を上回ると財政再建団体に落ちる。

連結実質赤字比率というのは企業会計を含む赤字比率である。

全国に約千あるといわれる自治体病院の多くが赤字経営であり、当町立病院も例外ではない。

指標の改善を図るためには20年度予算が確立してからでは遅いので先を

見据えた的確な予算編成が求められるが、住民サービスを維持しながら効率的な行政運営を行うための予算編成について町長に伺う。

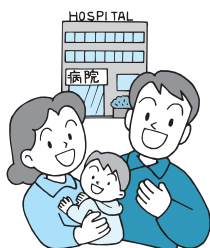
**答** 町長 数値基準の公表により財政状況が一定の客観性をもつて判断される。

当町の18年度決算数値をこの比率に置き換えると将来負担比率の数値は出ないが、他の比率は全て基準内であり健全段階である。

20年度予算編成に関しては自主財源に乏しくいろいろな形の国の財政支援に依存するところの大きい町であり厳しい経過をたどることが確実である。

歳出はできる限りの抑

制を基本とし、その観点にたつてどうしても必要なものを見定め、歳入ではとにかく確実に財源を求め、これまでの姿勢を堅持し、身を締め予算編成にあたっていく考えである。



# 山本周也

## 議員



### 新町発足後2年間の町行政運営は？

**問** 新町発足後2年間の町行政運営に関する成果、反省と今後の重点的な取り組みについて伺う。

**答** 町長 合併して2年、慌ただしく日が過ぎるなか、総合計画等のまちづくりの目標設定を行い、行政改革への取り組み、大規模災害

### 2年たつての思い

**問** 合併して2年、現状の評価と反省点、どのような町であってほしいか町長の思い、解決すべき点を伺いたい。

**答** 町長 新しい進むべき道を示すものとして、総合計画等の作成や町の生き残りをかけての行政改革への取り組み、また既定の事業の抜本的な見直し等を行っているが、合併特例債を活用して防災行政無線整備事業やその他の事業をみても今後継続していかなければならぬものばかりであり、第一歩を踏み出したというのが実感である。解決点としては公共料金の調整がある。利用していたく施設やサービスの提供に係る経費を的確に把握し、負担していたく料金を適正かつ公平妥当なものとするために、合併時すぐということだけでなく調整のため期間を設けていると

害に対する住民の安心・安全対策や、高齢化・少子化対策と厳しい財政状況のなかで確実な行政運営に努めてきた。今後は第一次産業をはじめ町の活性化への取り組みに方策を講じて産業基盤の整備を押し進め、税収の増加による財政力の充実に重要であり、住民が望んでいる大規模災害対策、医療介護福祉政策、交通道路網の整備等山積の課題に早急に、着実に取り組んでいかなければと考えている。

いう事情もあるが、協議も深めていかななくてはと考えている。

**問** 住民の行政情報の開示、通達について、町の基本的な考えは。

**答** 町長 現状において行政情報の開示手段として、企画商工観光課では広報紙、ケーブルテレビ、ホームページの三つのメディアを活用している。各課においても各メディアの特性を使い分けながら行政情報の

### まちづくりへの提言

**問** まちづくりについて地区担当職員制度、地区要望制度、住民集約のまちづくり補助金制度を創設してはどうか。

住民みずからが主体的に地区のまちづくりを進める取り組みに対する支援ということであり、創設することを提言するが、町長の考えは。

**答** 町長 地区担当職員制度というのは各地域への職員による支援体制でありどのような体制ができるのか、また必要か検討していきたい。地区要望制度、補助金制度は実施をしている部分もあるが、住民の声をしっかりと聞くという基本にたちかえり、住民サービスの向上に取り組んでいきたい。

開示を行っている。積極的でわかりやすい情報開示により、行政の透明性を確保するのは住民への信頼・信用の向上につながる。

があるので進めていきたい。20年4月から新しい組織づくりにおいて、情報についてはしっかりと対応する部署も設定している。

# 橋本剛匠

## 議員



南伊勢町

三重県南伊勢町

〒516-0194 三重県南伊勢町三ツ木3057  
代表電話番号 0939-68-1111 代表FAX番号 0939-68-1804

〒516-1482 三重県南伊勢町神前15  
代表電話番号 0939-71-0001 代表FAX番号 0939-71-0279

南伊勢町役所

〒516-0194 三重県南伊勢町三ツ木3057  
代表電話番号 0939-68-1111 代表FAX番号 0939-68-1804

〒516-1482 三重県南伊勢町神前15  
代表電話番号 0939-71-0001 代表FAX番号 0939-71-0279

南伊勢町役所

〒516-0194 三重県南伊勢町三ツ木3057  
代表電話番号 0939-68-1111 代表FAX番号 0939-68-1804

〒516-1482 三重県南伊勢町神前15  
代表電話番号 0939-71-0001 代表FAX番号 0939-71-0279

南伊勢町のホームページ



## 岡田和夫 議員



### 町立病院の 将来計画は

**問** 町長は20年度から病床の一部を10床程度の老健施設にする考えを示したが、4月より後期高齢者医療制度が実施されると75歳以上の患者の診療報酬に包括払い、定額制が導入され、長期療養が必要な患者が10床程度の老健施設では患者の行き場がなくなる。町立病院として今後の対策を町長は考えているのか。

**答** 町長 病院から20年度から2階の療養病床の一部10床を老健施設に転換する計画が示されたが、この計画の具体化については、今後の町立病院経営に多大な影響を与える療養病床に関する診療報酬の改定を見極めながら進めなければ

### 下水道事業の 見直しは

**問** 町内3ヶ所で下水道工事が進められているが、人口がますます減少していくなかで町の財政シミュレーションをみた場合、10年後、15年後の町財政は大丈夫なのか。数多く使用するマンホールポンプの維持管理費の負担等現在進めている事業計画の見直しは。



まもなく供用開始（五ヶ所地区）

**答** 町長 これまで下水道事業は補助金事業で行われてきたが19年3月に交付金事業となった。五ヶ所地区は20年4月、神前地区は22年4月からそれぞれ供用が開始され、南海地区でも地域から早期の供用開始が望まれている現状での段階で計画の見直す考えはない。維持管理費の軽減と加入促進に向け鋭意努力していく。

財政としては厳しくなると認識しているが、海の浄化を含めきれいになると確信している。

## 澤村圭也 議員



### 居宅介護サービス 利用料の半額補助 制度の実施は

**問** 年金所得の少ない方が、施設ではなく自宅で必要な介護サービスを受けていただくには利用料を安くする以外はない。介護施設に入所している方には、町費から多く支出している。自宅介護者にも町が負担をして介護支援を行うべきではないか。20年4月より居宅介護サービスの本人負担半額補助の制度を実施する考えは。

**答** 町長 介護保険給付は利用者の一割負担が原則。この制度の実施例は県内にもないが、度会広域やその構成町とも検討していきたい。



今後も活やくを

### 国道の冠水 対策は

**問** 南海保育所前の国道が、例年雨期や台風の時期になると大雨による冠水により交通に支障をきたしている。原因の調査と、20年度の大雨時期までに対策をとる必要があると思うが町長の考えを伺いたい。

**答** 町長 国道260号については重要な路線であり、改良工事が進んでいる。指摘の場所が改良すみの区間であり、県にも維持管理についてしっかりと要望し、早期の対策に努力していきたい。

**建設課長** 大潮の満潮と大雨が重なった時の水位の関係が原因の一部と考

## 脇海道耕一 議員



### 町立病院の 現状は

**問** 4月以降院長が着任され、医師や院長の町民評価は高く、外来患者、入院者数、救急車の受入れ数が増えたと聞くと資料の説明を願う。また新しい設備や機器の設置、MRI検査、シャトルバスの現状、18年度約1億9千万の赤字であったが19年度4月からの半期では赤字が出ているのか、診療科の増設あるいは新病院の建設計画はあるのかもあわせて伺いたい。

**答** 町長 宮崎院長が4月に着任以後、町内各地区での住民との対話や老人会での講話等を取り入れ外来患者も増えベッドの稼働率も順調に推移をしている。先日病院から5ヶ年経営計画が示されたが、院長ともよく話しあい住民の皆様

の期待に応えられるようにしたい。

**病院事務長** 救急車の受け入れについては月平均2〜3名増えている。新しい設備については●血圧脈波検査装置（動脈硬化の検査）  
●薬袋発行機  
●内蔵脂肪型肥満診断ソフ



サービスの一環に



慎重な審議を

# 各委員会ごとの課題

## 総務財政 常任委員会

- 連結決算について
- 本町の総合計画について
- 防災計画（防災センター建設と危機管理）
- 国民健康保険税の問題について



## 産業建設 常任委員会

- 各産業の推進
- 国道 260 号線の工事の推進
- 下水道工事の推進
- 獣害対策について



崩された石垣（獣害対策を）

## 教育民生 常任委員会

- 町立病院の経営計画について
- クリーンセンターの統合について
- 広域のゴミ焼却場の問題



クリーンセンター（東宮地区）

## 行財政改革 特別委員会

- 本町行財政改革全般
- 職員の定員管理について
- 公共事業等の入札制度の改革について



# その後 どうなった？ どうなっている？

議員の質問に対して町長や課長から答えた事について、その後の経過と結果について追跡調査を行いました。

質 問	経 過 お よ び 結 果
防災行政無線の工事の進捗について。	<p>防災行政無線は計画の通り、平成20年10月にはすべて完成の予定であり、屋外の放送施設については平成20年3月に完成し使用されます。屋内戸別（各家庭）の受信機は平成20年10月までに全世帯に設置される予定です。これにより各地区の説明を4月より行う予定となります。</p> 
大地震等による災害時のための食糧の備蓄について。	<p>現在1万食の用意がされており、平成19年度より5年間の計画で5万1千食分を備蓄いたします。また備蓄場所として、町内各小学校と各地区をお願いをして分散して備蓄を行います。</p> 
下水道料金の格差是正について。	<p>本町は合併協議の中で、合併後5年間で下水道料金の是正を行います。是正の方法については一度に行うのではなく段階的に決められた期日までに実施されます。</p> 
国道 260 号線の本谷工区と慥柄と東宮の工区の進捗状況は。	<p>いつになれば正確な予定が見えるのか、という思いが住民の皆様にあると思います。現在のところ本谷工区については約5割位の工事の進捗状況です。慥柄から東宮間では計画から少し遅れておりますが25年頃にはバイパスの完成予定です。3分間の信号の解消される予定として平成20年度中を予定しており今しばらくお待ちいただく事となります。</p> 



# 広報特別委員会



- 議会だよりの充実
- 議会広報研修会への参加
- 新しい企画の実施



議会広報研修会



3月定例会は  
**3月3日～21日まで**  
**開会予定**

## 議会広報特別委員会

議会広報特別委員会		
委員長	副委員長	委員
倉田 珠文	上村 久仁	岡田 和夫
西田 則孝	澤村 圭也	東伊久雄

議会だよりについて  
のお問い合わせ等は、議  
会事務局までご連絡く  
ださい。  
☎ 0599-661781

議会を傍聴して  
みませんか